

第3章 緑に関わるまちづくりの課題と計画の目標

3-1. 明石市の緑に関わるまちづくりの課題

明石市の「緑に関わるまちづくりの課題」について、前回計画の施策プログラムの達成状況や緑に関する市民意識の把握を踏まえ、上位計画である長期総合計画や関連計画の都市計画マスタープラン等から、以下6つの課題を抽出しました。

(1) 安全・安心のまちづくり

生活の様々な場面で生じる不安にきめ細かく対応し、明石における「暮らしを守る」ため、防災（自然災害に対応する避難地・避難路の確保）、健康福祉（子ども、高齢者、障害者をはじめすべての人が活動する場の創出、生活習慣病を予防する環境形成）、治安維持（犯罪を抑制する環境整備）に取り組んでいく必要があります。



写真10：防災訓練の様子（明石海浜公園）

(2) にぎわい・活気あるまちづくり

大都市に近い立地条件を活かし、人々が集う拠点の形成、地域特性を活かしたまちづくり（明石特有の地域資源の活用による観光・地域独自の文化と産業の振興）によるにぎわいの演出に寄与していく必要があります。



写真11：ひょうごまちなみガーデンショーのイベント（明石公園）

(3) 自然・歴史・文化とこれらの景観を活かした個性あるまちづくり

明石は美しい海岸線、田園風景、ため池などの自然環境とそこに生息する多様な生きもの、太古の昔から営々と築かれてきた歴史や文化に恵まれ、今日まで発展してきました。こうして、先人が守り育ててきた個性ある自然・歴史・文化とこれらの景観を、後世に残していくとともに、心の安らぎやゆとり、まちへの愛着や誇りを高めていくための方策が必要です。



写真12：住吉公園（住吉神社）

(4) あらゆる世代を健やかに育むまちづくり

安らぎとにぎわいのあるまちづくりを実現するためには、明石のまちに暮らすあらゆる世代を健やかに育む環境づくりが必要です。安心して子育てに取組める環境整備を行うとともに、健全な次世代の育成のための環境体験学習や食育、高齢者等の健康増進に配慮した取組み等が必要です。



写真13：園庭の芝生でお弁当（松が丘幼稚園）

(5) 自立した地域コミュニティの形成を促すまちづくり

明石のまちづくりの主役は明石のまちに暮らし、活動する多様な「人」です。こうした方々とともに、明石をさらに発展させていくためには、市民活動などを通じて地域の人のネットワークを構築し、自立的な地域コミュニティを形成していく必要があります。



写真14：公園愛護会の活動の様子（藤江2号公園）

(6) 環境と調和した持続可能なまちづくり

明石の自然環境を次世代に引き継いでいくためには、持続可能な取組みが必要となります。特に、近年、問題が顕在化している環境問題に対応したまちづくり（CO₂の排出削減、ヒートアイランド現象の緩和など）や、自然環境に配慮したまちづくり（地域の生物多様性の保全など）を推進していく必要があります。



写真15：生物の生息するため池（八十島池）